

5 主な傷病の総患者数

主な傷病についての全国の総患者数は、「悪性新生物<腫瘍>」1,782千人、「心疾患（高血圧性のものを除く）」1,732千人、「脳血管疾患」1,115千人となっている（表7、統計表9）。

表7 主な傷病の総患者数

(単位：千人) 平成29年10月

主な傷病	総数	男	女
結核	18	8	10
ウイルス性肝炎	156	75	81
悪性新生物<腫瘍>	1 782	970	812
胃の悪性新生物<腫瘍>	196	135	61
結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	288	164	124
肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	56	38	19
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	169	102	67
乳房の悪性新生物<腫瘍>	232	3	229
糖尿病	3 289	1 848	1 442
脂質異常症	2 205	639	1 565
血管性及び詳細不明の認知症	142	49	93
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	792	379	414
気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	1 276	495	781
アルツハイマー病	562	150	412
高血圧性疾患	9 937	4 313	5 643
心疾患（高血圧性のものを除く）	1 732	963	775
脳血管疾患	1 115	556	558
慢性閉塞性肺疾患	220	154	66
喘息	1 117	509	607
う蝕	1 907	832	1 075
歯肉炎及び歯周疾患	3 983	1 621	2 363
肝疾患	249	127	123
慢性腎臓病	393	242	151
骨折	677	249	428

注：総患者数は、表章単位ごとの平均診療間隔を用いて算出するため、男と女の合計が総数に合わない場合がある。

※ 総患者数（傷病別推計）とは

総患者数とは、調査日現在において、継続的に医療を受けている者（調査日には医療施設で受療していない者を含む。）の数を次の算式により推計したものである。

$$\text{総患者数} = \text{入院患者数} + \text{初診外来患者数} + (\text{再来外来患者数} \times \text{平均診療間隔} \times \text{調整係数}(6/7))$$

